

令和5年度新見市子ども・子育て会議 会議録

1 日時 令和5年8月28日(月) 10:00～11:10

2 場所 新見市役所南庁舎3階 大会議室

3 出席した委員 11人

新見公立大学健康科学部健康保育学科	准教授
新見市主任児童委員連絡部会	部会長
新見市議会文教福祉常任委員会	委員長
にいみ子育てカレッジ評価委員会	代表
新見市保育協議会	代表
新見市放課後児童クラブ	代表
新見市認定こども園PTA	代表
新見市幼児クラブ	代表
新見商工会議所	専務理事
新見市教育委員会教育部	部長
新見市福祉部	部長

4 欠席した委員 2名

新見市小学校長会	会長
阿哲商工会	会長

5 事務局 6名

福祉部	健康医療課	主幹
	福祉課	課長
	子育て支援課	課長
		課長補佐
		主任
教育部	学校教育課	課長

6 会議内容

○事務局

新見市子ども・子育て会議設置要綱第6条第2項の規定に基づき、会議成立の報告。

1 開会

○子育て支援課長挨拶。

2 委嘱書交付及び委員紹介

○事務局

委員及び事務局の紹介の後委嘱書交付。

3 議事

議事①「会長・副会長の選任」について

事務局から

会長・副会長の選出についていかがいたしましょうか。

○委員

事務局案はありませんか。

事務局から

事務局案を提示。

承認いただける方は拍手をお願いします。

〈拍手にて承認〉

承認いただきましたので、よろしくお願いします。

○会長

会長挨拶。

議事②「新見市子ども・子育て会議」及び「新見市子ども・子育て支援事業計画」の概要について

事務局から

「新見市子ども・子育て会議」及び「新見市子ども子育て支援事業計画」の概要説明。

委員からの質疑なし

議事③ 新見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価として、令和4年度における実施状況について点検・評価を行う。なお、本日の点検・評価結果については、意見を取りまとめて市HPにて公表予定。

事務局から

新見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について、子どもを取り巻く市の状況として、少子化の動向の確認、子育て施策をめぐる状況として、子育て支援施設及び地域子ども・子育て支援事業の利用状況の確認について説明。

○委員

保育施設の職員として、保護者は育児休業が明けると入所を希望されるので、0歳児の受け入れニーズが多くなっているように感じている。園・所ごとに受け入れができる年齢は異なるが、子育て支援課と連携をして受け入れを行っている。

○委員

少子高齢化が進んでいるが、放課後児童クラブでは、資料に掲載されているとおり登録者数が増加している。これからは、放課後児童クラブが児童達の重要な活動の場となると思われるので、新見市には更なる支援をお願いしたい。

事務局から

教育・保育事業の見込みと実績について説明。

○委員

現在育児をしているので、その目線から話をさせていただく。ファミリーサポートセンターや病児保育事業等の実績値が見込値を下回っている事業については、「手続きが複雑で使いたくても使えないという方がいるのではないか。」という意見が子育てカレッジ評価委員会の中でも出ている。子育てカレッジが行っている事業については改善に向けた検討を行っている。新見市でも早急に対応できるものから対応をしてもらいたい。

○委員

子どもが小学校へ入学した際、放課後児童クラブに入れず困っている人がいる。資料には登録者数の記載があるが、入ることができなかった人もいると思われる。設置場所等の問題もあるが、働いている親からすると小学校1年生の壁を感じるので、受け皿がもう少し広がればありがたい。

○委員

放課後児童クラブについて、地域の方が設立をして運営をされているが、運営が大変だという声を聴いている。また、放課後児童クラブへの子どもの行きしぶりがあるとも聴いており、親と子どものコミュニケーションの問題もあるかと思うが、放課後児童クラブとも連携して解決が図れればと思っている。

○事務局

放課後児童クラブについて、令和3年度途中で新たに2クラブが設立し、現在のクラブ数は14となっている。クラブの数も増えており、共働き家庭等によるニーズの高まりを把握し、地域や保護者と連携しながら、必要な支援を行える体制をとっている。手の行き届いていない部分もあると思われるので、相談等があればその都度連絡をしていただき、対応していきたい。

○委員

第2期子ども・子育て支援事業計画において、放課後児童クラブの利用人数の量の見込は年々減少しているが、実績値は年々増加している。量の見込はどのようにして決めたのか。

○事務局

第2期子ども・子育て支援事業計画を策定する際に、アンケート等によるニーズ調査を行っており、その調査結果や、本市の少子化の動向等を勘案して、計画策定時に量の見込値を決定している。

○委員

量の見込値は今後修正をしていくのか。

○事務局

第2期子ども・子育て支援事業計画が令和6年度までの計画となっており、次期計画の策定にあたって、新たにニーズ調査等を行い、適正な数値に修正する予定である。

○委員

ニーズ調査は誰を対象として行っているのか。また、次回の調査はいつ頃行われるのか。

○事務局

未就学児及び就学児の保護者の中から対象者を無作為に抽出して調査を行っている。放課後児童クラブ等の事業ごとに対象者を抽出しているわけではない。次期計画のニーズ調査については、国の動向を注視しながら今後、調査を行う予定である。

事務局から

基本目標・基本施策ごとの実施状況について説明。

○委員

2点質問があります。1点目、新見市は英語教育に力を入れており、幼児期から英語に親しむ事業を行っているが、幼児期から英語に親しむことで、就学した時にどのような効果が得られているのか。2点目、読書手帳を用いて読書活動の推進をされているが、読書手帳とはどのようなものか。

○事務局

1点目について、市内のALTは小学校6人、中学校6人、計12人勤務をしている。月に1回程度、就学前施設において英語教育を実施し、外国の方のネイティブな英語に触れ、遊びをとおしてコミュニケーションをとるなど英語に親しんでいる。就学後に違和感なく外国語活動や英語教育に進んでいけるというメリットがある。

2点目について、読書手帳はセカンドブックの配布から小学校において子どもたちが個々で自分の読んだ本を記録していく手帳であり、自分の読んできた本を見える化するための手帳である。読書手帳を活用することによって、本人と教員が得意分野や興味のあるジャンルを把握することができ、指導に活用している。

○委員

大変失礼ではあるが、所属している団体は直接的に子育て支援とは接点がないので、会議の中で出た意見等と働き方改革、障がい者就労支援、ふるさとキャリア教育等との結びつきを考え、所属している各企業が活用できるよう支援を行いたい。また、委員には、所属している団体内の子育てを頑張っている、実態を知っている人を選任していただいた方がいいのではないかと思う。

○委員

様々な子育て施策の推進を行っているが、課題もあると考えている。次期計画の策定にあたり、よりよい計画になるよう皆様から助言や意見等を賜りたい。また、市がどのような子育て施策を行っているか分かりにくいという意見があり、ホームページにライフステージごとの支援や施策が分かるようなページを作成中である。市の取り組みを知り合い等へ広めていただきたいと思う。

○委員

就学後の支援について意見をいただいているが、教育委員会としても重く受け止めている。放課後児童クラブ等の事業に対して、地域全体で子どもたちを育てるという意識を持ちながら対応していきたい。子育て中の方からの意見は重要であると考えているので、平素からでも気軽に市への要望等があれば伝えてもらいたい。

議事④ その他

○委員

他の会議の中で移住・定住推進課から、高梁市が始めた保育園留学について、今後、調査検討を行うと説明があった。子育て支援課にも情報は共有されているのか。また、保育園留学と同じような受け入れを現状で行うことができるのか。

○事務局

保育園留学については情報を共有しており、先日、移住・定住推進課の担当者と一緒に子育て支援課の担当者が高梁市へ視察に行っている。現在、事業を行う場合の課題等について検討を行っている。

議事終了。

4 閉会

○副会長

副会長挨拶。